

求人申込書＜開発_電子機器ハードウェア開発＞

更新日:2020年5月20日

有効期限:2021年3月31日

社名	カブシキガイシャタダノ										
	株式会社タダノ										
本社住所	〒	761-0185	香川県高松市新田町甲34番地								
本社電話	087-839-5555		本社FAX	087-839-5743	URL	http://www.tadano.co.jp/					
代表者役職	代表取締役社長			代表者氏名	多田野宏一						
事業内容	建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売			設立	1948	年	売上実績 (連結)	2016	年	179,676	百万円
				資本金	130億2100	万円		2017	年	173,703	百万円
				従業員 (連結)	3,405	人		2018	年	188,451	百万円
企業情報	1955年に日本で初めて油圧式クレーンを開発して以来、売上高2000億円を超える建設用クレーンのNo.1企業として業界をリードしており、世界4大メーカーの一角としての地位を築いている、東証一部上場企業です。1960年には国内他社に先駆けて、海外輸出を開始。1973年には海外子会社を設立し、現在では世界11ヶ国に子会社を展開しております。また1991年にドイツの名門クレーンメーカー「FAUN社」をグループ化。2012年にはタイに工場新設するなど、海外においても「世界のTADANO」として、確固たる地位を獲得しております。 さらには、新たにタダノグループの事業領域を「(移動機能付)抗重力・空間作業機械=LE(Lifting Equipment)」と定め、LEという事業領域のなかで、更なる成長を目指し、LE世界NO.1となることが長期の大きな目標です。										

担当者住所	〒	761-0185	香川県高松市新田町甲34番地								
担当者電話	087-839-5525		担当	【部署】	人事部 人事グループ	【役職】	アシスタントマネジャー	【氏名】	吉本 和哉		
担当者FAX	087-839-5743		担当者e-mail		saiyou@tadano.com						

求人職種	開発(電子機器ハードウェア開発)		雇用形態	☒ 正社員 ☐ 契約社員		
求人人数	1 名			☐ パート・アルバイト ☐ 業務委託		
学歴	高専卒以上			☐ その他 ()		
最低限必要な経験・資格	・電子回路設計の経験		できれば必要な経験・資格	・車載機器の電子回路設計(尚可)		
職務内容	・クレーン、高所作業車を制御するための、制御システムを開発する。 ・クレーン、高所作業車の制御システムを構成する電子機器のハードウェアの仕様定義、回路設計、サプライヤとの折衝、評価を行う。					
給与	☒ 月給 ☐ 日給 ☐ 日給月給 ☐ 時給		賞与	年2回		
賞与等	年2回(6月、12月)		時間外労働	あり(36協定 特別条項あり)		
給与外手当	交通費、時間外手当、役職手当、住宅手当など		勤務地	1. 香川県 さぬき市		
			交通	1. JR高德線・ことடன்志度線「志度駅」徒歩15分		
				2. 車通勤 可		
備考	■制 度:借上社宅、財形貯蓄制度、退職年金、持株制度 他 ■諸施設:独身寮、保養所ほか ■その他:各種クラブ活動、リフレッシュ休暇ほか		受動喫煙対策	建屋内禁煙・屋外指定場所にて喫煙可		
就業時間	【生産・開発部門】8:25～17:10		(実動 下記 時間/休憩 55 分) (残業: ☐ 有 ☐ 無)			
	就業時間備考: フレックスタイム制(コアタイム 10:30～15:00)。 実働7時間50分。					
休日	年間休日: 125 日(2018年度 実績)		定年	60 歳／再雇用 (☐ 有 ☐ 無 65 歳)		
	休日: 完全週休2日制(土・日)、祝日、有休、年始年末、慶弔、GW、夏季休暇			再雇用備考:		
面接	随時お問合せください。 (2020年7月1日付、10月1日付、2021年1月1日付入社想定)		選考方法	面接、適性検査		
社会保険	☒ 雇用 ☒ 労災 ☒ 健康 ☒ 厚生年金		試用期間	☐ 無 ☐ 有 (期間 3ヶ月)		
求人背景	「過去」と「外部環境」を変えることはできませんが、自助努力によって「自分達」と「未来」を変えることはできます。 高い志と強い信念を持って『世界に、そして未来に誇れる企業』を目指しています。 タダノの基本方針は、「利益を出す」「人を育てる」を每期継続することができる『強い会社』に。事業も組織も、そこで働く人財も止まることなくダイナミックに動いていくため、多職種で新しい人財を受け入れ、価値観を多様化し、真のグローバル化を進めます。 現在、国内では市場の防災減災・インフラ老朽化対策、東京オリンピック招致によるマインドの改善を背景に、海外では、エネルギー・インフラ関連を中心に中東・東南アジア等で需要が増加。販売価格の適正化や原価低減等により、4期連続の増収増益。売上高・利益ともに過去最高を更新しました。 ブラジル、タイ、インドと、子会社の設立が加速する中、組織のグローバル化を支援する人財を求めています。					